

自転車事故による損害を補償する自転車保険等の種類を見てみましょう!



個人賠償責任保険

個人またはその家族が、日常生活で誤って他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして、損害賠償金や弁護士費用などを負担した場合の損害を補償する保険のことをいい、自転車事故も補償対象になります。

また、個人賠償責任保険の被保険者は、「生計を共にする同居の親族と別居の未婚の子」となっています。そのため、家族一人ひとりがそれぞれ加入する必要はなく、世帯主が契約すれば子どもが起こした事故も補償されます。



「共済」

共済には第三者への損害賠償を付帯しているものや特約として「個人賠償責任保険」を付帯できるものもあります。



「TSマーク付帯保険」(自転車向け保険)

自転車安全整備士が点検整備した普通自転車に貼付されるもので、このマークには傷害保険と賠償責任保険が付いています。貼付されるシールの色によって補償額に違いがあります。補償期間は自転車点検したその日から1年間です。

*「TS」とは、TRAFFIC SAFETY(交通安全)の頭文字をとったものです。



クレジットカードの付帯保険

「クレジットカード」や「自動車保険」に特約として「個人賠償責任保険」をセットしているものもあります。

事故による損害を補償する自転車保険等の種類一覧

日常生活での賠償責任保険等

保険の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
	損害保険の特約	損害保険の特約で付帯した保険
団体保険	会社等の団体保険	団体の構成員向けの保険
	PTAの保険	PTAや学校が窓口となる保険
共済		全労済、市民共済など
TSマーク付帯保険		自転車の車体に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		カード会員向けに付帯した保険

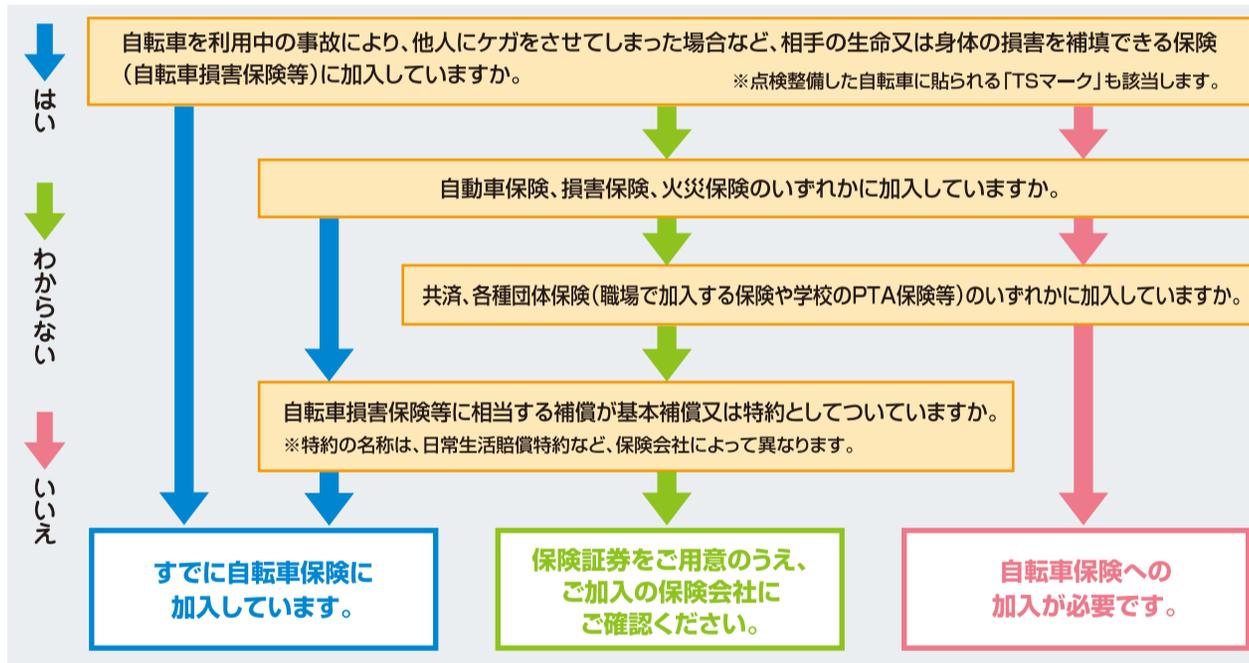
業務中での賠償責任保険等

保険の種類		保険の概要
施設所有者賠償責任保険		業務活動中の事故に備えた保険
TSマーク付帯保険		自転車の車体に付帯した保険

自分や家族は大丈夫? 自転車保険の加入の有無をチェックしましょう!



まずは、自転車のマナーとルールを守って安全に乗り、事故を起こさない事が一番ですが、万が一、事故を起こしてしまった時のために、自転車保険や個人賠償責任保険に家族全員が加入しておきましょう!



自転車保険に加入しているから大丈夫? 加入している中身もしっかりと確認しましょう!

自転車保険や個人賠償責任保険を選ぶ際のポイント

✓ 自転車保険や個人賠償責任保険で補償される内容はどのようなことか?

✓ 補償される金額はいくらまでか?
最高100万円? 1億円? 3億円?

✓ 補償される対象者は加入する本人だけか?
家族全員補償されるのか?

✓ 加入したら、いつから補償が開始されるのか?

✓ 補償期間はいつまでか?

✓ 掛金は月々いくらか?
年間でいくらか?



自転車保険(個人賠償責任保険)によっては付帯されるサービスや特約

示談交渉サービス

相手との示談交渉をあなたに代わって保険会社が代行してくれるサービスです。

自転車ロードサービス

事故や故障で自転車が走行不能になったとき、希望の場所まで自転車を運搬してもらえるサービスです。

弁護士費用一部負担特約

示談交渉サービスを利用できないケースの際に弁護士に法律相談や示談代行を依頼する費用を補償する特約です。